

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カルティボネクスト		
○保護者評価実施期間	2025年11月7日		～ 2025年11月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年11月11日		～ 2025年11月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・本人支援を大切にしており、子ども自身が楽しんで参加することが出来る。また、活動の中でも子ども自身が活動を選択する機会が多い事業所である。	・支援員との関係性を早急に構築することで、本人の気持ちや、困りごとを伝えやすい安心できる環境になるように心がけている。 ・その日の療育スケジュールの中で、本人が活動を選択できる機会が多くなるように取り組んでいる。	・その子の強みを伸ばして将来につなげていけるような支援の強化をしていく。 ・ABAの考え方を取り入れ子どもの行動や変化を支援員間でしっかりと共有し、本人支援を考えていく。
2	・思春期のお子さまのニーズにあわせたプログラムを実施している。	・思春期特有の距離感やSNS系列への支援を行なっている。 ・思春期特有の悩みを同世代で共有できる時間を意図的に作り、事業所にてリフレッシュ出来ることを目指している。 ・同世代や支援員とのコミュニケーションをとることを大切にしている。 ・日常の楽しみにフォーカスをあて、カラオケやボーリング推し活やお買い物学習のプログラムも提供している。 ・身体を動かす機会も多めに、運動(卓球・ダンス・PTのコアトレ)にも力をいれている。	・カルティボ内での他事業所の利用の際には、情報共有しながら個別支援計画書の作成を行い、子どもにとって統一性のある支援を実施していく。 ・4年目に入りプログラムがルーティン化してきているので新しいものも行っていくために同法人内事業所からアイデアを聞いていく。 ・同法人内の事業所との合同プログラムを実施する機会を増やし、固定化された友だちとの関わりだけでなく、幅広い年代や新しいお友だちとの関わりを持てるように工夫をする。
3	・個別支援計画書の説明、またその内容に沿った支援を実施している。	・完成した個別支援計画書の説明を行う際にただ読み上げるのではなく具体例を出しながら伝えている。 ・来所前のミーティングを必ず実施し、その日に来所する子どもの個別支援計画書の内容を確認して支援している。その他気になること等の話し合いも行っている。 ・簡易表も作りすぐに計画書を確認できるようにしている。	・子ども本人からのニーズもより詳しく聞いていくように心がけていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の具体的な説明や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていなかった。	・研修会等の開催はしておらず、情報提供は稀にしていた程度になってしまっていた。	・相談等があった場合にはペアレントトレーニングとしての考え方や支援方法をお伝えすると共に、保護者様が参加できるような外部の研修会など情報を探し、積極的に発信を行う。
2	・保護者会、保護者同士の交流の機会、きょうだい向けのイベント等が開催されておらず、閉鎖的になってしまっていた。	・保護者会等は時間的、業務的などところがあり、開催することができていなかった。季節に合わせたイベント(マルシェ、クリスマス会等)は事業所内では実施していたものの、個人情報観の観点や職員の配置状況から参加できる形では行っていなかった。	・保護者会等は午前中の子どもが登所していない時間帯を使い、開催を検討していく。
3	・放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会の提供が行われていなかった。	・ご利用者の大多数が思春期の子どもである。そのため周りの子どもと自分の違いを繊細に感じ始め、事業所に通っていることを知られたくない気持ちがあることも多く、機会を提供していなかった。	・子どもの気持ちを汲み取りつつ、検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 カルティボネクト

公表日 2026年1月29日

利用児童

数： 32人

回収数： 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	0	0	0	活動スペースが広く活動しやすい。	学習ルームとプレイルームを使い分けて過ごしやすい環境を提供しています。 また、プログラムに合わせてプレイルームの環境をかえています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	1		保育士、児童指導員と経験豊富な職員を配置しています。専門職員として理学療法士も在席しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	0	0	2		お子様により分かりやすく、イラストと文字を用いてその日のスケジュールを伝えています。また、提出物カードを用いて声掛けなくとも提出物に気付ける工夫をしています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムに合わせてプレイルームの環境をかえています。 ・療育中は相談ルームを解放しお子様達がリラックスして集える場所となっています。 ・換気や消毒をはじめ感染対策も行っています。
適切	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	0	0	無理に誘うことはせず、子どもに合わせて支援を行っている所が良い。	事業所として「専門性」は、長年子どもと関わってきている指導員の考えや支援方法を指すと考えています。支援に関しては子ども達の来所前にMTGを行い、前回の様子や今の状況、個別支援計画書の内容を確認し、適切な支援を実施できるようにしています。理学療法士も加わりより専門的に支援が行えるようになりました。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	0		公表しているプログラムと実施プログラムを合わせるようにしています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0		支援計画に名前が無くても誰の計画かが分かるような個別化された支援計画を作っています。また、よりニーズや課題を分析できるように外部研修も受講しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
な 支 援 の 提 供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	0		個別支援計画書はガイドラインに合わせて本人支援・家族支援・移行支援の記載を行っています。支援目標はモニタリングの上、児発管が目標を決めて支援員で話し合って決定しています。支援内容は誰が見ても理解できる内容になるよう工夫をしています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		個別支援計画書の内容を子ども達が来所する前の昼礼にて再確認し、情報共有を行って支援員全員が意識しながら支援できるようにしています。 また、支援員が誰でもすぐに確認出来るように表に短くまとめたものも作成しております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	0	1	0		中高生という年代を考慮し、参加しなくなるようなプログラムの立案をチームで行っています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	3	7	キッズさんやファーストさんとの交流は良いと思います。	社内の他事業所と合同のプログラムを行い、異年齢での交流が出来る機会をもうけています。地域お買い物体験に出かけています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1	0	0		運営規程、支援プログラム、利用者負担等についてはご契約時に丁寧に説明をするよう心掛けています。またプログラムの実費負担については毎月の予定表やお便りを通して事前に知らせています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	1	0	0		今後もわかりやすい説明を心がけていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	2	8	あると良いなと思います。	事業所からペアトレのファシリテーターとして参加し学びを深めています。 家族が参加できる研修会の情報があつた際には共有しております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	0	0	0		日々の様子を写真付き連絡帳でお伝えしています。また、特段なにかがあつた時には別でお伝えしています。今後も引き続き、保護者の方と連携をとって支援してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	1	0		定期的なモニタリングに加え、ご希望があれば面談やお電話の時間を設けさせていただいています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0		子ども・保護者に寄り添つた支援を今後も続けていきます。
	18	文母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられ	0	6	5	9	あると良いなと思います。	ご要望にお応えして次年度以降は開催予定です。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0	0	2		・契約時に相談窓口が誰なのかを伝えていきます。 ・何か気になる事がありましたら、いつでもご連絡くださいと伝えるようにしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0		引き続き、電話やLINE等を利用しながら情報伝達を行ってまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	0	0		月に1回お便りと予定表を配布しております。また、Instagramを利用して日々の活動を発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	1		定期的に研修を行い、職員全員が個人情報の大切さを意識できるように取り組んでいます。引き続き個人情報には注意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	0	0		契約時に各種マニュアルがある事、研修を行っていることの説明を保護者へ行うようにしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	2		年に2回避難訓練を実施しています。また、その日の様子もお便りに載せています。支援員は二年に一回救命救急の訓練を消防署で受けています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	0	0		安全確保が十分出来るように環境を整備し、支援員を配置しています。また、イベントやクッキング等のプログラム前には危険予知活動により、普段以上に安全確保に努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	2		頭部を打った場合や事故、大けがの場合はすぐに電話を行い、伝える体制を整えています。また緊急性のない軽傷については送迎時に経緯と怪我の具合を説明する体制としています。自力のお子様の場合は保護者に連絡しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0		子どもが安心感を持てるように笑顔 を心がけて支援員全員が関わるよう にしています。子どもの好きな事を 個々に把握し、支援員と話をして楽 しいと思える様心がけています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	0	0	とても楽しく通わせて頂いていま	今後もお子さまが楽しめるプログラ ムを提供し、居心地のよい事業所で あるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	通い始めてから本人が生き活きて いて 自信が少しずつついてきたように思 います。 いつもありがとうございます。	引き続き、皆様に満足してご利用し ていただけるよう、子どもの支援に 対して日々話し合いや、改善活動の PDCAサイクルの実施を行い、より適 切な支援ができるよう努めて参りま す。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 カルティボネクスト

公表日 2026年1月29日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	学習ルームとプレイルームで使い分けています。また、机が自由に動かせるのでプログラムに合わせて環境設定ができています。	特に無し
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	基準の配置を守りつつ、お子さまの状態に応じて、職員を配置しています。特に不足している場合は他事業所からの応援も実施しています。	特に無し
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	ホワイトボードを使用してその日の一日の流れを視覚支援も取り入れながら、伝えていきます。年齢に配慮しトイレが2室あります。	特に無し
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	プログラムやお子さまの活動に合わせて(おやつ・会話・学習等)環境設定を行っています。リラックスして過ごせるように落ち着いたBGMを流しています。療育開始前には必ず清掃をしています。	特に無し
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	必要に応じてスライドドアで仕切ることが出来ます。相談室を使用することが可能です。今年度からパーティションも導入しています。学習する場所は別の部屋が使えます。	特に無し
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	お子さまが来所する前にはミーティングを毎日行い、改善が必要な点についてはPDCAに沿って話し合いができるようにしています。	特に無し
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎年ミーティングを行い話し合いと意見の把握を行い、業務改善に取り組んでいます。	特に無し

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	必ず意見は最後まで聞き、全員で協議して決定しています。 人の話を笑顔でできよう心がけています。 コーヒーなどを飲みながらリラックスした雰囲気を作っていきます。	話し合いに熱が入り雰囲気が固いことがあります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3	第三者評価は行っていませんが、今後必要に応じて設置を検討していきます。	特に無し
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	毎日少しずつ勉強時間を設けています。また、実際の声掛けのロールプレイを行っています。外部の研修を受講する機会はありません。 新しい職員に対して発達障がいについてより理解を深めるための環境を整えていきます。	発達障がいについてより理解を深める機会が必要です。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	お子さま自身がプログラムを確認できるように、写真つきのカラー印刷のお手紙を毎月配布しています。	特に無し
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	利用日のお子様様子を記録し、スタッフの意見を取り入れ保護者の方と面談（モニタリング）をしてから支援計画書を作成しています。外部研修を受講し、より分析できるよう努めています。	誰が困っているのかを明確にしていきたいです。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	毎日の記録に個別支援計画に対する評価を追記しています。児発管はそれも参考にしながら目標が達成されているかの進捗を確認出来るようにしています。会議に参加出来なかった職員については別途聞き取りを行っています。	特に無し
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	お子さま受け入れ開始前のミーティングでその日來所されるお子さまの支援計画を共有しています。すぐに確認・閲覧できるように表にまとめています。	特に無し

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 型にはめず個々の行動観察を実施しています。 児発管はよりスキルアップするためにアセスメントに関する研修にしています。 アセスメント表をアップグレードしていきます。 	フォーマルなアセスメントツールの作成、運用方法の検討が必要かと思います。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	個別支援計画については必要な項目を設定した上で定型文を使用することなくその子にあった最も適切な支援計画を作成しています。実際に可能な具体的な支援方法にしています。	特に無し
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	週に2度のプログラムの立案のためだけのミーティングの時間を設けています。	特に無し
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	年齢にあった流行をとりいれながら固定化しないように考えています。マンネリ化を防止するために、他事業所の意見を聞いてみます。	年齢にあった取り組んでみようという気持ちになるプログラムを考えていますが、同じようなものになってきています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	お子さまの状況に合わせてながら個別プログラムを実施しつつ、集団活動を行っています。また、発達状況を常に見極め記録し、個別と集団活動とその記録をスタッフミーティングで検討し個別支援計画書の作成を行っています。	特に無し
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	意見がしやすい雰囲気大切に、チームでの連携を高めています。イレギュラーが起きた際には直ぐに共有するようにしています。	特に無し
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	中高生が多く療育終了時間が遅いので、緊急でない限り翌営業日に時間をとり共有しています。	特に無し

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	個別支援ファイルや業務日報の正確な記録を行い、受け入れ前のミーティングで直近の出来事を話し合い、支援内容の検証、改善は常に行い指導員間で情報の共有をしています。	特に無し
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的なモニタリングは最低6か月に1回行っています、支援内容の変更がある場合には保護者様の意見を聞きつつ、随時見直しを行っています。	特に無し
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	0	お子さまが飽きないように「4つの基本活動」を元にプログラムを立案、実施していますがよりマンネリ化しないように同法人他事業所のアイデアを聞いていきます。	特に無し
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	お買い物体験・余暇活動・クラブ活動等自己決定が行えるプログラムを実施しています。	特に無し
関係機関や保	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児発管及び、必要であれば対象のお子さまの支援に特に関わっている職員も同伴して参画しています。	特に無し
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	事案が発生した場合には各機関と速やかに連携が取れる体制にしています。	どの現場も日々忙しいので中々連携する機会を確保するのは難しいです。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	可能な限り保護者さまから学校の情報をいただくように協力を依頼しています。送迎車が渋滞や直前の送迎で遅れている場合は速やかに学校へ連絡しお子さまの安全確保をしてもらっています。	特に無し
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	0	小学校高学年からのため、カルティボキッズ（同法人事業所）から移行してきた場合は保護者さまの同意を得て、家庭の状況を含め全ての情報共有を行っています。	特に無し
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	高校を卒業する際にご要望があった時には情報提供を行っております。	特に無し

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
護 者 と の 連 携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	3	必要に応じて連携を行っています。	現在は連携を行っていません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	3	地域のお買い物体験を通して、事業所以外の人との関わりを持つ機会を設けています。	多感な年ごろであるため、地域で他のお子様と活動することが気になるお子様が多いので実現は難しいです。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	0	3	自立支援協議会の資料に目は通しています。	特に無し
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳にてその日の状況をお伝えしています。その都度何かあった時には情報共有を行っています。	特に無し
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	3	・保護者から相談依頼があった際には時間を設け、個別に対応している。その際にはご自宅で出来る事、声のかけ方等をお伝えし、家庭でも出来る支援の方法、考え方をお話しています。 ・要望に応じてペアレントトレーニング等、研修の開催を検討していきます。	特に無し
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・見学时・契約時に丁寧な説明を行っております。 ・ご利用者の実費負担については毎月のお手紙で連絡しています。	特に無し
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・モニタリング時に必ず保護者さまの意見を伺うとともに、状況によりお子さまも参加してもらっています。 ・お子さまには職員と一緒に考えた「目標シート」に取り組んでもらい、小さな成功体験を積むことができるよう工夫しています。	特に無し
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	書いている内容をそのまま読むのではなく、お子さまの状況や支援方法をよりイメージしやすいように説明をさせていただいています。	特に無し

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	定期的な面談はしていませんが、要望があったときは実施しています。	お仕事をされている保護者のかたも多く事業所は午後からお子様がくるので時間をあわすことが難しいです。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	3	来年度以降平日の午前等を利用して交流の場を作っていければと考えています。	特に無し
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	申し入れがあった際には迅速な対応ができるようにフローチャートを含め資料を掲示しています。	特に無し
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・毎月カラーのお便りを発行しています。活動概要や行事予定、カレンダーでいつ何があるのか分かりやすい予定表をお渡ししています。 ・またInstagramを用い、活動内容をよりイメージできるように発信しています。	特に無し
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・職員は個人情報の取り扱いの研修を毎年うけており、個人情報の取り扱いは常に意識しています。 ・連絡帳の写真に他のお子さまの顔がはいらないようにしています。	特に無し
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	電話とLINEを使い分けて情報の伝達を行っております。特に日程などはLINEにて文章に残してお伝えしています。療育中は視覚支援も多く使っています。	特に無し
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3	機会があれば検討していきます。	特に無し	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 各マニュアルを策定しファイリングして職員が閲覧できるようにしている。また定期的な研修を実施し、変更点等あれば随時見直しを行っている。 保護者の方にはご希望があれば閲覧できる環境を整えている。 	特に無し
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> BCPの研修と年間2回の避難訓練をおこなっております。 コロナのような感染症が流行した時に備えて感染予防グッズも備蓄しています。消防署にて2年に1回の救命救急の研修を受けています。 	特に無し
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	てんかんの対応とてんかん発作のあるお子さまの名前を職員のみが見れる場所に常に掲示しています。またてんかん発作の社内研修もおこなっております。	特に無し
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー者一覧表を作成し、職員が確認出来る場所に掲示しています。 クッキング、イベント関係の際にはアレルギーのあるお子様には個別に保護者さまに連絡を行い、対応するようにしています。 	特に無し
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> 常にドアは施錠しています。 療育中の来訪者はカメラで確認後対応しています。 外出やイベント時には細かく職員の動きを書いたスケジュールを使い確認しています。 	特に無し
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	リスクが考えられる場面ではその都度保護者さまに説明を行い、対応方法について話し合いを行っています。	特に無し
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	何かあった時にはヒヤリハットを書いて職員に共有し再発防止につとめています。ヒヤリハット書く＝悪いことというイメージを払拭する声掛けを行っています。	特に無し

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	月始めに虐待防止委員会、身体拘束防止委員会を開催し、虐待や身体拘束の有無、それに連なる事項について話し合いを行っています。 ・全事業所合同で委員会を開催しており、情報の共有を行うとともに、意識を高めるようにしています。	特に無し
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	安全を考慮するための行動の制止について同意書を作成し、契約時に保護者さまの了承を得ています。	特に無し